土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　砂防指定地内河川　上布野川　通常砂防事業に伴う地質調査・設計業務委託（交付金）

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 砂防

ボーリング名	Bor. No. 6	**調査位置**	広島県三次市布野町上布野　地内			**北緯**	34° 53′ 18.5586″
発注機関	広島県北部建設事務所			**調査期間**	2023年 10月 23日 ～ 2023年 10月 27日	**東経**	132° 47′ 0.3363″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**		**ボーリング責任者**	
孔口標高	T.P. 296.95m	**角度**	180° 上下 90° 0° 0°	**方位**	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 20°	**使用機種**	**試錐機**	東邦地下工機　DD-C
総削孔長	15.00m								**エンジン**	ヤンマー　NFD-12	**ポンプ**	東邦地下工機　BG-3

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
	296.60	0.35		火山灰		暗褐				黒ボク。ごく微量の軽石岩片を混入。	
1	295.50	1.45		礫混じり砂質シルト		暗褐		rc3		細～中礫および粗砂粒を混入し，黒ボクの再堆積物とみられる。 礫分は最大でもφ10mm程度である。 試料の含水は低い。	
2	293.95	3.00		砂礫		褐	rd2			土石流堆積物か崖錐堆積物かは明らかでない。 少し雑多な堆積物の印象がある。 礫分はφ10mm程度以下が主体をなす。 マトリクスは中砂が優勢し，少し黒ボク混じりの感がある。 試料の含水は低い。	
3				玉石混じり粘土質砂礫						土石流堆積物に相当。 玉石分はL=7.5～13cmで採取。 その他の礫分はφ10～40mmが多い。 マトリクスは粘土混じり～粘土質の細中砂からなる。 3mの貫入試料は少し湿った程度であるが，4m分は中位以上に含水する。	
4	292.05	4.90				淡褐	rd2				10/25 4.00
5				礫混じり粘土質砂					新生代第四紀		
6	289.95	7.00				褐灰	rd1			土石流堆積物に挟在される泥流堆積物とみられる。礫分はφ10mm程度以下で，混入量はさほど多くない。「礫混じり」に達しない部分もあるかもしれない。砂の粒径は少し変化に富むが，全体としては下方に細粒化している。 6mの貫入試料にはφ40mmほどの礫分が混入し，礫打ちの影響が強く疑われる。	10/26 6.00
7											
8	288.05	8.90		砂質粘土		淡褐灰		rc2 rc1		淡色が徐々に強まる。黒ぴかり，または金属光沢を放つ微小な雲母片を豊富に含み，火山灰質であると判断される。上層と同じく泥流堆積物とみられる。高含水で軟らかい土性である。礫分は混入していない。砂分は細砂からなる。	
9											
10	285.55	11.40		砂礫		褐	rd3			土石流堆積物に相当。 全体に粗粒であるが，玉石混じりとするほどではない。 コアとして採取されるもので最大のものは，L=8.5cmである。 マトリクスは細粒分を伴った粗砂からなる。 貫入試料の含水は高い。	
11											
12	283.95	13.00		風化流紋岩質凝灰岩		暗青灰			中生代白亜紀	砕屑岩との判別に迷うが，①一部に斑晶状の鉱物粒を認めること，②明色の堆積構造が，溶結構造であるとみられることを根拠に，「流紋岩質の溶結凝灰岩」と判定した。コアは岩片～短柱状を呈す。柱状の所もヘアークラックが発達している。岩片は概ね新鮮で硬い。【CL級岩盤，軟岩Iに相当】	
13	283.40	13.55		風化流紋岩質凝灰岩		暗褐灰				割れ目沿いが破砕し，角礫状と化している。ただし，土砂化までには至っていない。岩質には大きな変化はない。 【CL級岩盤，軟岩Iに相当】	
14											
15	281.95	15.00		風化流紋岩質凝灰岩		暗青灰				短柱状コアが多くなるが，割れ目，ヘアークラックが密に発達し，安定に欠いている。高角度の割れ目が卓越するように見える。岩片は新鮮で硬い。 【CL級岩盤，軟岩Iに相当】	
16											
17											

標準貫入試験

深度－N値図 (0 10 20 30 40 50)	N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
	6	1.15	1	2	3	6/300		
		1.45						
	8	2.15	2	3	3	8/300		
		2.45						
	19	3.15	3	4	12	19/300		
		3.45						
	9	4.15	5	2	2	9/300		
		4.45						
	3	5.15	1	1	1	3/300		
		5.45						
	6	6.15	2	2	2	6/300		
		6.45						
	3	7.15	1	1	1	3/300		
		7.45						
	1	8.15	1/400			1/400		
		8.55						
	19	9.15	7	6	6	19/300		
		9.45						
	20	10.15	5	6	9	20/300		
		10.45						
	60	11.15	16	15	19/50	50/250	250	
		11.40						
		12.00	貫入不能			50/0		
		12.00						
		13.00	貫入不能			50/0		
		13.00						
		14.00	貫入不能			50/0		
		14.00						
		15.00	貫入不能			50/0		
		15.00						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					10/23
					10/24
					10/25
					10/26
					10/27